

令和7年度第1回経営アドバイザー会議議事録

開催日時	令和7年11月6日(水) 午前10時から正午まで
開催場所	千葉県立房総のむら 館長室
出席者内訳	<p>豊田佳伸 委員 柏木恭子 委員 秋山笑子 委員 山田篤 委員 寺島光浩 委員</p> <p>房総のむら：西原館長・鎌形副館長兼事業課長 安藤管理課長・長谷川広報普及グループ長</p> <p>千葉県教育振興財団：三浦事業企画課副主幹</p>
議事	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度上半期事業について ・運営についての意見交換 ・その他
質問、意見 要望等	<ol style="list-style-type: none"> ① 来館者数が増えていることはよいことである。 ② 昨年度のアドバイス事項であるSNSについて活用が進んでいるのはよい。 ③ 入館者数が、コロナ禍前の数まで戻っていないのが問題である。 ④ 体験者数はコロナ禍前に近づきつつあり、特に当日体験者数はコロナ禍前よりも増加傾向である。予約体験につなげる工夫を期待する。 ⑤ 房総のむらもインバウンドなどターゲットを絞った取組が必要と思う。 ⑥ 小学3年生は「昔の暮らし」という社会の単元があるので小学校から団体で来館するが、6年生の古墳や地層の勉強と組み合わせるのもよいと思う。 ⑦ 3館合同スタンプラリーは房総のむらを知っていただく効果がある。 ⑧ 教員の博物館利用研修会への教員の参加が少なく残念である。 ⑨ 入館者・体験者の安全を確保し事故を防ぐには、研修への参加や全職員への安全教育の周知徹底が重要である。
むらからの 回答 ※番号は、 「質問・意見・ 要望等」の 番号に回答	<ol style="list-style-type: none"> ⑨ 利用者・職員の安全対策については、産業医による講義や環境整備のための機材の研修会等への参加などに取り組んでいる。 また、枯木など危険木の点検や伐採を積極的に対応している。 今後も更に事故防止や安全確保に努めてまいります。